

認知症伴走型支援拠点とは

ご本人やご家族が

認知症の診断を受ける前や

診断を受けた直後から

継続して相談できる場です

診断後の戸惑いや不安

だれに話したら…という迷いや葛藤

あなたの想いを気軽に話す場として

わたしたちにぜひお話ください



昭和町委託事業

町民の皆様へ

認知症に関する悩みや不安
お気軽にご相談ください

認知症伴走型支援拠点

ひばり

Since 2024

TEL:275-9511

OPEN



開所日時：毎月第2・第4木曜日

13:30～15:30

※電話相談は随時受付

(平日 9:00～16:00)

場 所：介護老人保健施設ひばり苑

武川病院隣接

昭和町飯喰1277

電 話：055-275-9511

対 象：昭和町在住の認知症の診断を受けたご本人とその家族、又は昭和町在住で認知症について知りたい方等（相談は無料）

SEE MORE



昭和町委託事業

県内初！

認知症伴走型支援拠点ひばり

認知症はだれもがなり得る脳の病気。でも、認知症と診断されたからといって何もできなくなるわけではありません。これからも認知症とともに、あなたらしく生活続けることができるよう一緒に考えていきませんか？

相談するだけで
気持ちが楽になることも

認知症があっても
なくても共に生きる社会へ



● 認知症の診断を受けても、生きがいや希望や尊厳をもって、その人らしく暮らしていけるように、認知症伴走型支援拠点ひばりは、昭和町と連携してこの活動を進めています。

- ① もの忘れが気になってきた…
- ② 最近ちょっと家族が心配…
- ③ 認知症ってなに？
- ④ 介護サービスのことを聞きたい
- ⑤ もっと外に出て活動してみたい



新しい認知症観（令和6年1月認知症基本法が施行）

認知症になったら・・・

おかしな言動で
迷惑をかけるだけ

何もできなくなる

まわりが決定者で
自分は支援される人

何もわからなくなる

これらは古い認知症観です。認知機能は低下してもわかることやできることはたくさんあり、周囲の理解ある環境があれば、自分の想いを大切に、自分で決定しながら、地域の一員として暮らし活躍することができます。この考え方が“新しい認知症観”です。これからは、認知症の心配や不安は先送りせず、地域ぐるみで自分事として考え、知り、備えていくことが大切です。

一緒に活動しませんか？

ひばりは認知症の相談先としてご利用いただける他、認知症サポーター養成講座を開催したり、認知症月間には昭和町にオレンジ色のお花を咲かせる“オレンジガーデニングプロジェクト”にも参加しています。もちろんご本人・ご家族の参加も大歓迎です。

※オレンジは認知症支援・普及啓発活動のシンボルカラーです。